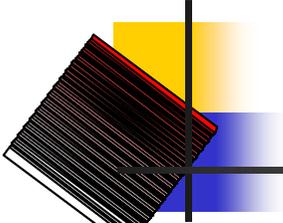


独立行政法人雇用・能力開発機構山形センター

プロジェクトリーダー育成研究会 (第1回)

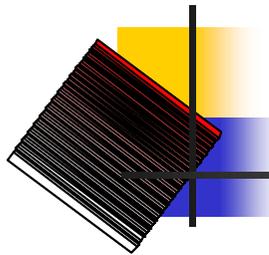
(有)SKソリューションズ
黒沼 貞志

(有)SKソリューションズ



Contents(目次)

- ④ はじめに&自己紹介
- ④ 経営課題解決手法の潮流、プロジェクトと課題解決
 - ・実践事例紹介(連携・協働事例を中心に)
 - ・実践事例から読取れる課題
 - ・課題解決の潮流
 - ・潮流から見えてくる課題解決の前提とスキル
- ④ 参加事業所の抱えている経営上(人材育成を中心に)の課題
- ④ 「ソリューション」「プロジェクトマネジメント」力の意識化とその効果&事例

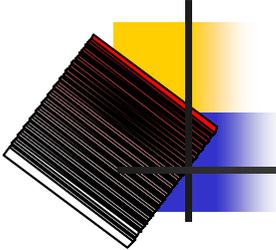


はじめに&自己紹介

🔗 はじめに

🔗 自己紹介 : 弊社ホームページ

< URL : <http://sk-solutions.org> > を参照願います



経営課題解決手法の潮流、プロジェクトと課題解決

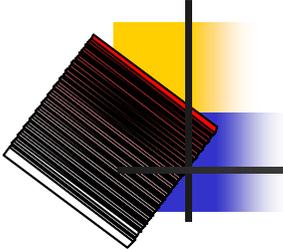
実践事例紹介（連携・協働事例を中心に）

流通業から製造・販売事業へ

清涼飲料販売事業の業務改善ニーズ → 装置開発 → 特許化
→ 製造 → 販売
< 副産物 > : 「高度技術開発の新しい発想（大学機関の評価）」

建設業からサービス業へ

公共土木事業 → バリアフリー 住宅分野事業 →
高齢化社会の家庭密着型諸サービス業（パートナーとの連携）



経営課題解決手法の潮流、プロジェクトと課題解決

産業構造の変化への対応

自動車リサイクル法施行(2005)に向けた解体・リサイクル業種の
「グループ結成&経営改善による生残り」検討

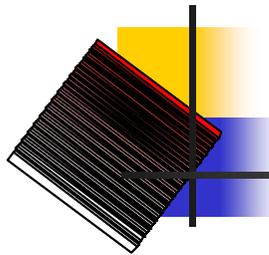
地域活性化事業

地域異業種連携・協働事業創出 : NPO+ 福祉 + 農業
飲食 + 福祉 + 農業 + 行政

地域NPO福祉事業の新しい事業展開 : 主事業 (GH・DS・・・)
+ 新付加価値機能 (小規模作業所) 導入

環境分野技術の試み (型産業)

技術 : 「バイオマス・エタノール」「バイオマス・スラリー・フューエル」「ウロン破壊装置」・・・
施策 : 「リサイクルポート事業」「環境保全型産業集積促進事業」・・・



実践事例から読取れる課題：1

産業界の2極分化

「グローバルイゼーション」& 「ローカライゼーション」 → 両輪のバランス

消費者意識の変化

廉価・大量

変化 →

「安全」「信頼」「公正」

【こだわり】への回帰

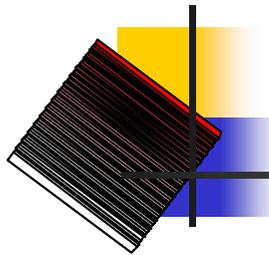
地域の蘇生

(1) 「ローカライゼーション」 → 産・学・官・民の連携・協働・共創

(2) 企業のパラダイム (共通思考の枠組み) シフト

一組織 (企業) 中心 → 連携・協働 (パートナーシップ) の形成

メリット：リソース (人材・資金・資材・時間) 活用の可能性 & 自由度が広がる



実践事例から読取れる課題 :2

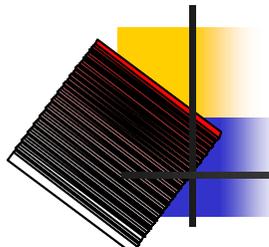
事業成功の **5**本柱

施策の **3**本柱

- 1.ハード(インフラ 設備 ・システム)
- 2.ソフト(ハードの運用 ・活用のプロセジャー & 仕組み)
- 3.人材 (利用者 & 運用者)

連携 ・協働 (パートナーシップ)の形成の **2**本柱

1. **合意形成**の確保
2. **アカウントビリティ**(プロセスのオープン化)の確立



課題解決の潮流 : 1

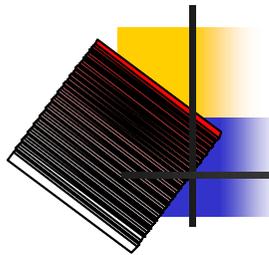
組織のパラダイムシフト : コミュニケーションギャップの克服
トップダウン&ボトムアップの限界克服

協働ワークショップ

協働ワークショップのメリット

- (1) 事業の目標の確認及び明確化
- (2) 目標達成のための手段の見落としの低減
- (3) 団体、関係者と支援者の **合意形成** の生成
- (4) 重点課題の定量的抽出
- (5) 重点課題の担当化と実施計画書の作成
- (6) 業務の **アカウンタビリティ(説明責任、透明性)** に寄与

共創 共進



課題解決の潮流 :2

フェーズ 1 : 構想 (アイデア) から事業コンセプト&事業プラン立案まで

フェーズ 2 : 事業アクションプランの構築 (Q : 品質 C : 費用 D : 期限)

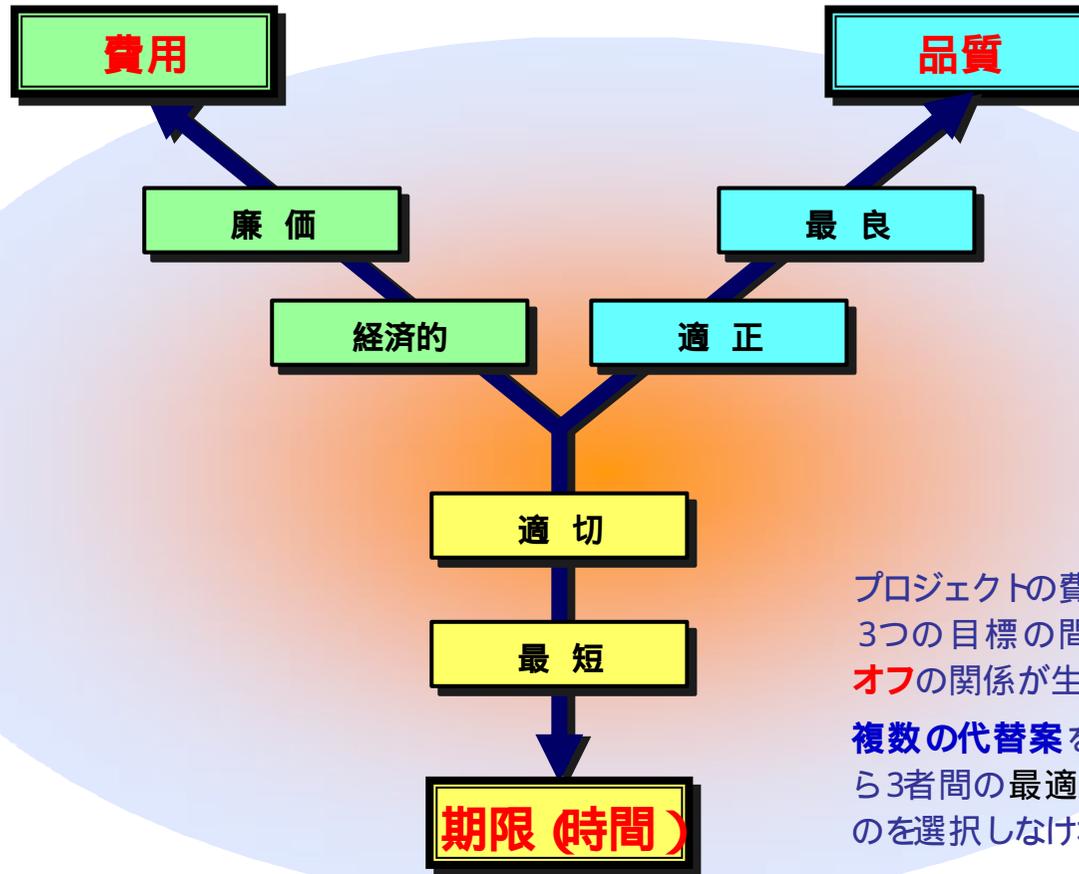
事業実行計画書 (目標・現状・実現方法・担当・期限・
期待される成果物) の作成

作業工程表 (作業項目と実現可能なスケジュール) の作成

フェーズ 3 : 実行

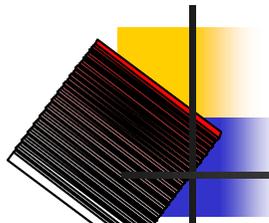
プロジェクト・マネジメント (事業遂行管理) 手法

プロジェクト・マネジメントの目的



プロジェクトの費用、時間、品質の3つの目標の間には常に**トレードオフ**の関係が生じる。

複数の**代替案**を用意し、その中から3者間の**最適なバランス**をとるものを選択しなければならない。



潮流から見えてくる課題解決の前提とスキル :1

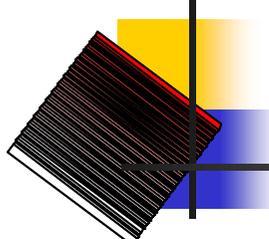
大前提

好奇心

アンテナの高さ

アンテナの感度

即ち、入出力情報に対する「姿勢の問題」



潮流から見えてくる課題解決の前提とスキル :2

✎ スキル

「ソリューション」能力

「プロジェクトマネジメント (事業遂行管理)」能力

課題解決の「答えは一つではない」

解決に関わるリソース (人・物・金・時間・情報など) により
複数の (答え) 代替案がある